

町営スキー場がオープン

今年は例年になく雪の状態がよく、1月6日（金）に予定通りオープンすることができました。オープン当日は、さっそく「冬休みのスポーツチャレンジ～楽しくスキーポールチャレンジ～」が始まり、参加した小～高校生たちは果敢にポールゲートに挑んでいました。

また、一般対象の「大人のスキー教室」も始まり、本格的なスキーシーズンの到来です。

シーズン中はちびっこ雪まつり、スキー大会やバッジ検定などたくさんの企画が予定されています。家族や友達と一緒に、大いに楽しんでください。

以前は町営スキー場を「学校山」と呼んでいて、ロープトゥ・リフトは1本のロープだけでした。また、風雪をしのごためのバスをロッジとして利用していました。

今はシュレップリフトを無料で運行しておりナイター設備も完備とあって、町内はもちろん近隣からもたくさんのスキーヤーが訪れます。小さいお子さんの怪我など事故につながることをないようにマナーを守り、お互いに譲り合いの心をもって安全に楽しんでほしいと願っております。

教育長 堂下 則昭



図書室 新刊情報



ホワイトルーキー3

／佐竹アキノリ

研修医だって恋もクリスマスも楽しみたい…地方病院の研修医が直面する理想の罫と青春の光と影。



ある愛の寓話／村山由佳

原点回帰にして到達点捨てられた猫、恋人の犬、カエルのぬいぐるみ…言葉は伝わらなくても、わたしは愛している。



祝祭のハングマン／中山七里

法律が裁けないのなら、他の誰かが始末する。遺族から恨まれ、世間から糾弾されても、極刑を下せない。下手をすれば裁判で禿を済ませてしまう



ワンダーランド急行／荻原浩

ある朝、通勤と反対方向の電車に、魔が差して乗ってしまった。山の中をさまよい、戻ってくると、誰もマスクをしていない！

令和5年知内町二十歳を祝う会

令和4年4月に改正民法施行で成年年齢が18歳に引き下げられましたが、これまで通りに開催年度で20歳となる人を対象に「令和5年知内町二十歳を祝う会」を開催しました。

今年は、対象者42名のうち29名が式典に出席し、背広や振袖などに身を包み、友人や恩師と久しぶりの再会を楽しみました。

式典では、村井斗也さんが町民憲章を朗読後、西山町長の式辞、伊藤議長の祝辞に続き、出席者を代表して吉田雄飛さんと大嶋あかりさんによる宣言、堂下教育長から代表の滝谷千鶴さんへ記念品の贈呈、式典の最後は出席者を代表して堺一花さんから謝辞が述べられました。

式典終了後、引き続きアトラクションとして、「思い出のスライドショー」「自己紹介」「恩師からはなむけのことば」と全員で知内讃歌を斉唱し、最後に記念撮影を行い全ての日程を終了しました。



田中実行委員長



「幼児家庭教育事業」

のびのび教室(育児教室)

保護者同士の交流や遊びを通じて子供の成長を支援します。

<第4回目開催しました>

日 程：12月21日(水)

内 容：クリスマスパーティー、キッズ食育教室、親子工作
<第5回目>

日 程：2月20日(月)

場 所：保健センター

内 容：キッズ食育教室、ひなまつり親子工作

申 込：教育委員会社会教育係まで ☎5-6855

初めての方も、お気軽にご参加ください。



『知内高校生からのコメント』

今の知内町はスポーツセンターや公民館など子どもたちが楽しめる施設がたくさんあり、子どもたちにとって教育面を含め、とても良い環境だと思います。

子どもたちが成長していく中で、どうしても心身ともに周りとの差ができてしまい、今まで通りの関係を保つことができなくなり、最終的にはいじめ等に発展してしまうと思います。

ですが、そのようなことは一人ひとりが「思いやり」を大切にすることで必ず防ぐことができると思います。どんな人でも一度は「『思いやり』を大切にしよう。」と言われたことがあると思います。本当に大切なことだと思います。

しかし、その「思いやり」の大切さは年月を重ねるごとに忘れられていると思います。「子どもであっても大人であっても同じ『人』として『思いやり』が大切なんだ。」そんなことを、今の知内町の素晴らしい環境を活かすことで、子どもたちに伝えることが可能だと思います。学習面での教育だけでなく、心の面での教育に力を入れることで、未来の社会をつくっていく子どもたちが大きく成長できると思います。